

五分館だより

第14号
豊丘村公民館
第五分館
編集 社会部
印刷 龍共印刷(株)

堀越の今日
H3.9.1現在
戸数 99戸
人口 438人

開発か産廃受け入れか イメージダウン・汚染が心配

毎日トラックに満載されて運ばれて来る産廃物を、首を傾げて見ていたら、新たな処理施設計画がいくつも出てきた。開発を合理的に進めるには、受け入れるべきなのか。多くの区民の素直な意見を聞かせて頂きたい。



このゴミの上に美しい自然が

今年に入り堀越地区内に、新たに三ヶ所の産廃処理施設が計画されていると聞いている。

計画では地元での理解が得られれば、今後5〜8年位の期間で処理を行なうようであります。品目については各施設ともに数品目に限

定して、村内外の業者に委託して処理するという。施設は管理型とし、完成後は農地として再現するものや、地区の活性化に役立つ活用方法を検討しているとのこと。完成後の計画については何にも問題はなく活性化は推進すべきと思う。しかし施設受け入れについては、多くの問題や心配もあり、その是非を含めて十分な検討が必要との立場から、私の考えの一部を述べてみたい。

一つは、処理技術が向上していると言っても産廃処理であり、今後八年間、毎日産廃品を満載したトラックが通ることは、茸観光はもちろん、地区のイメージダウンになり、活性には反してしまふ。

二つ目は、地区の活性化と言う美名に諸問題がかくれてしまっている。地区の活性は区民総意でクールに進めたいものだ。その意味からも、区政研究会で議論すべきだと思う。

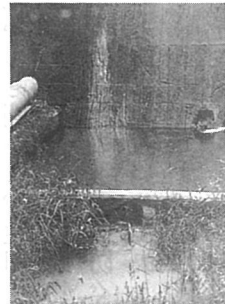
三つには、豊丘でも今後下水道の完成により、生活、産廃物が増加することは間違いない。その時こそ社会的責任を果すべきで、今急いで、県外からの産廃を受け入れることは、責任の果し方が違うと思う。

四つに、現在の処理場について反省がされてない。下流では水質の汚れが見られ、約束と違う物も持ち込

フェンスの内側は ミステリー

お上人のりんご団地の下、西部にある産廃廃棄物の最終処分場へ、先日見に行ってきた。

長久保地籍には集水池があり、その池の中には、ストロベリーをつぶしたような色をした液体が、沢に流れ出ていました。



この色の水が無害?

なんておそろしい色をした液体なんだろう……。

情報の発信基地と 企業を逆手に取った開発を

来たるべき二十一世紀に向けて地域社会は国際化、情報化、高齢化及び価値観の多様化等により大きく変貌しようとしている。これらの変化と対応に各地域で様々な模索を繰り返しながら豊かな地域づくりと活性化の取り組みを展開し、地域振興を目指している。

当地区も区政研究委員会を発信するかである。「自由

民族運動は山から」と言う言葉がある。山の中からは、新や炭などエネルギーの基地であり、蚕や農産物を作り都会との交流が活発であった。だから進歩的思想が入り込んだ。地元の産業が関係して内発的發展を遂げた。

山村こそ世の中をリードする思想を生んできた。まさに自ら(地域)から産業を興し情報発信基地にすべきだ。

二つとして企業を逆手に取って開発アピールすること、都会にはふるさとを失った人間があふれている。地域を主体として都市をジョイントすることを原則に、大企業の知恵と資金を導入すること。他町村ではいくつもの例がある。区政研のアンケートにも産業振興、観光事業に大胆な発想で意見がある。百田地籍の温泉、公園周辺の整備、温水プール、宿泊施設、企業誘致等まさに若者(二十〜二十九才)は現代感覚に後れまい

とす、都会的センスを求めていると思われる。これからは自然と共生、都市と山村の共存を兼ねそなえた地域開発、振興も次代を担う若者達のために考える時ではないか。地域と企業の共存共栄の方策を模索する必要がある。

私は来たるべき二十一世紀を先取りし、豊丘村をリードする地域づくりの為に発信基地を目指したい。

林 惇

まれていると言う。この様な状態では、『今回の施設は大丈夫です』と言っても説得力がない。

五つに、本当に安全かどうかであります。施設の機能は安全でも、扱うのは人間です。目に見えない物や間違ひもあり、安全確認の方法がない。

六つ目に、長い間には水質の汚染も心配があり、将来に、悔いが残らないか。紙面の都合で全てを言い表すことは出来ませんが、結論を急ぐことなく慎重な議論を期待します。

武田 勝

防災訓練行なわれる 万一の時には女性が主役に

九月一日、豊丘村が会場となり、大規模な防災訓練が行われ、それに合わせて、各部落でも早朝より訓練が行われ、ある部落に出席させてもらいましたが、男性だけの訓練でした。

消防団経験者ばかりの訓練と言う感じでしたので、女性の方も参加して万一に備えてほしいなと思うような訓練でした。また、現在、堀越の消防団員は、ほとんどの人が会社勤めで、特に

昼間地元には、団員がいない時が多く、河野からも四軽便に二名ほど応援に来てもらっている状態で、いざ地元からの火災でも出遅れるのでは、と言った心配が多い毎日です。

OBの人の協力など、よい方法はないものでしょうか？

また、秋から冬にかけて、火災の多い時期となり、家庭でも炊事、風呂、暖房など火を使う機会が増えて、

毎年のように、たき火の不注意による林野火災、灯油とガソリンの入れ間違いによる暖房器具からの火災が発生しています。

日頃から、家族全員で注意し合い、火を出さないようにすると共に、万一発生してしまった時は、落ち着いて、消火器等による初期消火に務めましょう。

特に家で火を使う機会の多い婦人の方々は、消火器の使い方を覚えてもらい、宝の持ちぐされにならないよう、万一に備えてほしいと思います。

みんなで力を合わせ、堀越から火災を永久に、追放しましょう。



スポット
ライト

会社員から専業農家に

『地道にいききたい』



武田 伸吉 君
(九衛)

堀越に住むようになって、又家でりんご作りの専業農業を始めるうちに、村長選や、お祭り、農協青年部の活動など、地域の皆さんと顔をあわせる機会が多くなった。家で農業をやっている者にとっては、息抜きになり、楽しみでもある。

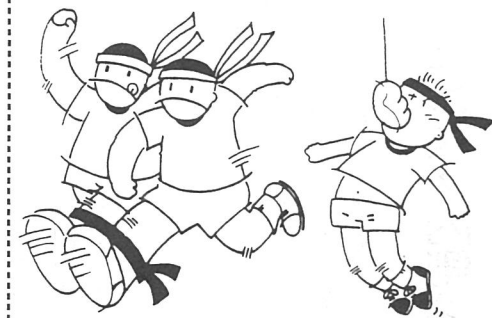
今まで経験もなくどういふものなのか想像がつかんし、敬遠したい気持ちが強かったが、通ってお世話になるうちに勉強になりました。私と家族が一軒かまえて地域の中に暮らすことは、皆さんにお世話になることもあるし、微力ながら出来ることは前向きに手伝えることが基本のようです。自分の都合ばかり考える行動は、困った時に誰も振り向いてくれない可能性が出てきそうです。このごろは専業農

家も減ってきているようですが、サラリーマンの人たちは、会社の都合で忙しい、休みがない等の理由で、地域の活動を逃げられる部分が多いが、専業農家は家にいるのでそうもいかず、必然的に負担はかかってくる。割が悪いと思わず勤めれば何かいい事があると思いたい。

りんご作りも頭となれる人は、規模拡大と良いものの生産に心をそそぎ、兼業の人や後進の人たちの指導にあたる重要な存在である。そんな事を思いながら地道に儲けていききたいと思っております。

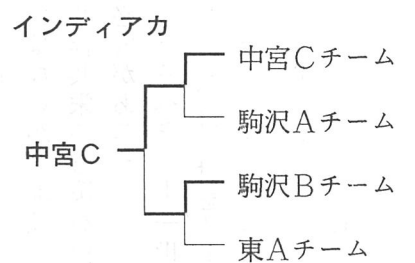
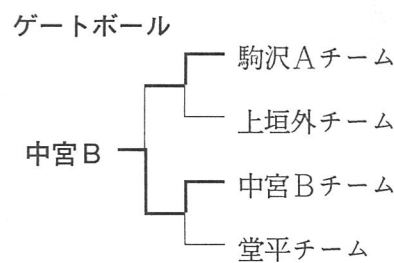
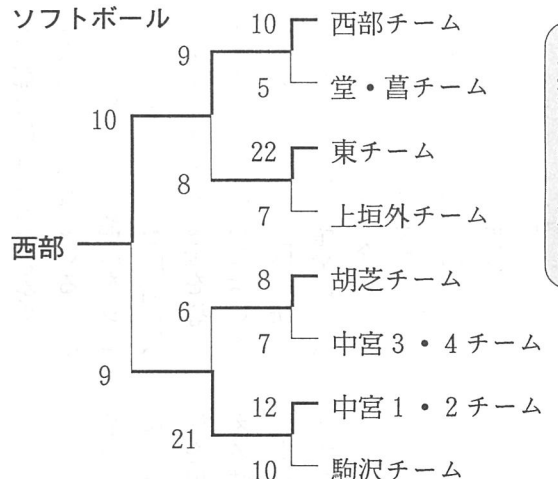
お知らせ 堀越大運動会

- とき 11月3日(日)
雨天 4日(月)
 - ところ 天神公園グラウンド
- 楽しい1日をお過ごし下さい。



重くて動けん

- ソフトボールの部
優勝 西部チーム
準優勝 中宮1・2チーム
- インディアカの部
優勝 中宮Cチーム
準優勝 駒沢Bチーム
- ゲートボールの部
優勝 中宮Bチーム
準優勝 駒沢Aチーム



球技大会の結果

黒谷箋

我家では今年も飼料用とうもろこしの収穫時を迎えようやら猪の被害が最小限だったと、ほっとしています。四年程前の冬だったと思います。畜舎の隣の飼料畑を子供六頭を連れて猪の親が走り去って行きました。畑を越え山の斜面を駆け上がる様はなかなかの見もので、子猪は俗に「うりぼう」と呼ばれる黒と白の縞模様、目の当たりに見て私や子供達は『わくわく動物ランド』宛らだと感動したものでした。ところが、その年の春頃蒔き付けの終わった飼料畑へ猪が出るようになり、春蒔き付けから秋の収穫間近まで猪対策に追われるようになりました。

猪の被害は村内外の山間地からも聞かれ、生田では猿による被害も出て動物による農作物の被害を防ぐ為の方法もいろいろ工夫されているようです。先月猿の被害に泣かされている生田で捕獲された猿を見ました。集団で畑を荒らしまわる勢いはどこへやら情けない顔して座っていました。

本来なら人目の付かない山奥に暮らす動物が、いとも簡単に里で見られる昨今何がいったいどうなっているのでしょうか？

久保田 友子